

令和元年度第3回鹿児島市交通事業経営審議会

日時	令和2年1月28日（火） 15:00～15:45	会場	交通局3階 第2会議室
出席者	古川会長、小山委員（副会長）、江口委員、碓山委員、石田委員、塩川委員、岩崎委員、金子委員（8名）		
市出席者	交通事業管理者、交通局次長、総合企画課長、総務課長、経理課長、電車事業課長、バス事業課長、総合企画課企画係長、企画係職員3名（11名）		
会次第	1 開会 2 議事 （1）鹿児島市交通事業経営計画の策定に係るパブリックコメント手続の実施結果について 3 その他 （1）第2回経営審議会開催以降の主なトピックス 4 閉会		

会次第2-(1) 鹿児島市交通事業経営計画の策定に係るパブリックコメント手続の実施結果について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	経営計画の主な新規・拡充事業はどのようなものがあるか。
事務局	国体おもてなしラピカの発売、インターネット等を活用した車両部品等の売却、路線移譲に伴い使用しなくなる資産（車両や土地等）の処分等、新型花電車の製作・運行などを具体的施策として盛り込んでいる。
委員	先日参加した鹿児島のまちづくりを考えるシンポジウムの中で、「誰もが快適で移動しやすい都市を目指してほしい」との意見が学生から挙がっていた。 時刻表が破れている等の管理が行き届いていないバス停があったり、外国や県外から来た学生の中にはバスの乗り方等のルールが分からず利用しづらいという声を聴き、バスにもっと乗りやすくなるよう親切で分かりやすい案内表示があれば、との思いから意見として挙げたとのことであった。 計画において「大学等との連携」を具体的施策として掲げているようであるので、このような学生の意見も聞きながら、今後、取り組んでいただきたい。

会次第3-(1) 第2回経営審議会開催以降の主なトピックス

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	かごでんの乗車は、敬老・友愛パスも使用できるのか。
事務局	使用できる。運行ルート変更後もそこは変わらない。
委員	リフト付き貸切観光バスは、車いすの方は何名乗車できるか。
事務局	同時に2名利用可能である。
委員	大型バスのようなのだが、小型バスの導入予定はあるか。
事務局	今のところ予定していない。

会次第3 その他

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	今月中旬の鹿児島交通の減便について、理由として運転士不足が挙げられていたが、4月に交通局から路線移譲を受けるにあたっての運転士の確保と関連しているのかどう

発言者等	協議事項・質疑・回答等
	か気になった。この点について把握されていることはあるか。
事務局	交通局からの路線移譲が直接的な要因とは聞いていない。利用者減に伴う路線収支の悪化や全国的な運転士不足等の状況を受けての判断だったのではと考えている。 鹿児島交通が廃止した路線は、交通局・南国交通と競合している路線であり、また、交通局が今回移譲する路線は民間バスと競合していた路線であることを踏まえると、結果として、市内のバス路線はある程度整理されてきたのではと感じているところだ。
委員	今後、こういった案件について、事前に情報提供や意見交換の場が設けられるのであれば、市全体の交通網としてどうあるべきか検証が必要とされる点も出てくると思う。一事業者である交通局の範疇では無いと思うが、市として全体的に見られるような仕組み作りを今後検討していただきたい。
事務局	平成28年3月の経営審議会において、「交通政策の観点から、市民等利用者、公営・民営事業者などの関係者が席に着き、利用者の視点から鹿児島市の交通事業全体の在り方を協議できる場の設置を、行政に対して要請するべき」との答申を受け、市に協議の場を設置いただいた。 その場での協議の結果、路線バスについては、各事業者間で協議することとされたところであるが、全国共通ICカードの導入やバス停の案内表示などの利用者サービスに係る部分については、今後も引き続き、協議の場において、行政と連携をとりながら検討していきたい。
委員	バス事業の抜本的見直しにおける路線の移譲や余剰となる職員の処遇について、現在どのような進捗状況となっているか。
事務局	路線の移譲については、国の方に必要な認可申請を行ったところ。現在は審査手続き中と聞いている。 職員の処遇については、正規職員に対し、昨年12月に2回目の意向調査を行い、その結果を踏まえて、4月の人事異動に向けた市長部局との協議を行っている。また、嘱託職員に対しては、要望も受けたことから、民間事業者の就職説明会を局内で開催した。民間事業者は運転士が不足している状況なので、民間事業者を希望する職員がいた場合はスムーズに手続き等が進められるようパイプ役を担っていきたい。